

事業名	都市公園クビアカツヤカミキリ被害対策事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度	
	課	都市整備課			款	8	新規or継続	継続事業
	係	公園緑地係			項	4	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	521	名称	目	5	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	R4	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり	終了年度	R6	事業分類	施設維持管理事業	
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備					
			都市公園法施行令・特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	都市整備課が管理する公園等の桜に対し、クビアカツヤカミキリによる被害に対し防除事業を実施する。
------	---

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	都市公園の桜の被害木へは薬剤注入・ネット巻き付け・伐採等の防除対策を実施した状態とする	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		被害木の内、防除対策を実施した割合	%			19.4	51.7	100.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	繰越し事業については、城山公園と堀米桜堤の桜について、被害木の把握・調査、及び薬剤樹幹注入を業務委託により実施した。 現年度事業については、城山公園と堀米桜堤の桜について、状況把握調査、ネット巻き、薬剤噴霧、枯枝等の伐採を業務委託により実施した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		薬剤樹幹注入した被害木本数	本		40	117
		ネット巻付した被害木本数	本		1	131
		被害木の伐採本数	本		39	22
		事業費計	千円	0	0	11,121
		一般財源	千円		0	4,472
		特定財源（国・県・他）	千円		0	6,649
（うち受益者負担）	千円		0	0		

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	市を代表する桜の名所である城山公園及び堀米桜堤の桜に対し防除対策を実施することが出来た。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		被害木の内、防除対策を実施した割合	%		19.4	27.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用が下がった	費用の増減無し	費用が増加した
			○		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

補助対象事業としてことから、補助交付決定を受けてからの事業開始となったため、実施内容の変更が生じた。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

優先7公園については引き続き防除対策を委託により実施することとする。令和7年度以降は、防除対策は継続実施するものの、被害により枯損木となった桜の伐採業務に注力する。

事業名	都市公園ナラ枯れ被害対策事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	都市整備課			款	8	新規or継続	新規事業
	係	公園緑地係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	521	名称	根拠法令、条例等	目	5	義務or任意	任意的事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	R4	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり	終了年度	R5	事業分類	施設維持管理事業	
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	ナラ枯れ被害を受けた都市公園のコナラの木に対し、薬剤樹幹注入やネット巻き、枯損木の伐採を実施した。
------	---

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	ナラ枯れ被害を受けた公園内にあるコナラに対し、被害木へは薬剤を注入し枯れることを防止し、未被害木へはネット巻きを行い被害の拡大を防止する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		被害公園内の防除対策実施割合	%	-	0.0	100.0	-	-
管理上支障のある枯損木の伐採割合	%	-	100.0	100.0	-	-		

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(R4からの繰越) 被害を受けた都市公園4箇所のコナラの木に対し、薬剤樹幹注入及び未被害木へのネット巻きを実施した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
	(R5現年) 被害を受け枯れてしまったコナラの管理上支障のある枯損木を伐採した。	被害木への薬剤樹幹注入	%		100.0	0.0
		未被害木へのネット巻き	%		100.0	100.0
	事業費計	千円	0	495	24,288	
	一般財源	千円		495	18,909	
	特定財源（国・県・他）	千円		0	5,379	

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	被害木へは薬剤樹幹注入を行いナラ枯れを防止し、未被害木へはネット巻きを実施し被害を受けない状態とする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		被害公園内の防除対策実施割合	%	-	0.0	100.0	値が大きいくらい	効果が上がった
		管理上支障のある枯損木の伐採割合	%	-	100.0	100.0	値が大きいくらい	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用	費用は下がった	
				費用の増減無し	
				費用が増加した	○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

R4繰越し事業で防除対策を実施した樹木の内、枯損木となり伐採した木があった。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	事業終了
------	------

事業名	都市公園安全安心支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度	
	課	都市整備課			款	8	新規or継続	継続事業	
	係	公園緑地係			項	4	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	521	名称	根拠法令、条例等	目	5	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	都市公園法・佐野市都市公園条例・佐野市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例	事業期間	開始年度	R4	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり		終了年度	-	事業分類	施設等整備事業	
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	公園出入口からトイレまでの園路とトイレのバリアフリー化を図り、合わせてトイレの水洗化するものである。
------	--

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	公園施設をバリアフリー化して、利用者の安全安心を確保する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		バリアフリー化する施設数	箇所	0	3	4	4	2

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	関川第1公園、多田公園、新吉水第1公園、若原西公園のバリアフリー化及び汲取りトイレの水洗化工事を実施した。 秋山川多田緑地、わのみや公園、京路戸公園のバリアフリー化工事に伴う設計業務を委託により実施した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		バリアフリー化した公園数	箇所	0	3	4
		実施設計した公園数	箇所	0	6	3
		事業費計	千円	0	41,184	63,965
		一般財源	千円	0	4,584	4,992
		特定財源（国・県・他）	千円	0	36,600	58,973
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	4つの公園の入口からトイレにいたるまでの園路をバリアフリー化したとともに、汲取り式トイレを公共下水道に接続しバリアフリートイレに改修したことにより、都市公園利用者の安全安心を確保できた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		バリアフリー化する施設数	箇所	0	3	4	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
指標全体	効果が上がった		費用	費用が下がった	
			費用が増減無し		
			費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

公共下水道の供用開始区域内にある都市公園の汲取り式トイレは全て下水道接続を完了した。今後は、公共下水道の供用開始区域外にある都市公園の汲取り式トイレを浄化槽処理のトイレに改修していく必要がある。また、和式便器の洋式化及び都市公園内のバリアフリー化を継続して推進していく。 人件費を含め工事費用が年々増加している。また、補助対象外工事内容が今後は増加していく見込み。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

汲取り式トイレ解消に向け、令和7年度までは継続して事業を実施する。
都市公園利用者の安全安心のためにも、和式便器の洋式化を推進していく。

事業名	日本公園緑地協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	都市整備課			款	8	新規or継続	継続事業	
	係	公園緑地係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	521	名称	根拠法令、条例等	目	5	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	5			快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	実施方法	一部委託
	政策	2			住みやすい快適なまちづくり	終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1			快適で質の高い住環境の整備				

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	日本公園緑地協会に負担金の支出。同協会発行の機関誌やメール等から情報収集し事務事業に活用した。 (日本公園緑地協会の活動) 総会、研修会、講演会の開催。都市公園の管理に関する情報収集と会員への情報提供。
------	---

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・協会に参画することにより、都市公園についての最新情報を得る事が出来、職員が事務事業に活用出来る状態にする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		市民からの苦情・要望件数	件	0	0	0	0	0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 日本公園緑地協会に負担金の支出。 同協会発行の機関誌やメール等から情報収集し事務事業に活用した。 (日本公園緑地協会の活動) 総会、研修会、講演会の開催。都市公園の管理に関する情報収集と会員への情報提供。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		都市整備課の職員数	人	19	23	23
		日本公園緑地協会の会員数	団体	938	933	933
		事業費計	千円	50	50	50
		一般財源	千円	50	50	50
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	・協会から情報を収集するとともに、協会主催の研修会等に参加し、公園運営の参考とした。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		市民からの苦情・要望件数	件	317	297	247	値が小さいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用	費用は下がった	
				費用の増減無し	○
				費用が増加した	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

業務の効率化のため、Park-PFI事業やPPP-PFI等の活用が進んでいる。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

今後も継続して、日本公園緑地協会に参画し、都市公園に関する情報収集を行っていく。

事業名	(仮称)高萩中央公園整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度				
	課	都市整備課			款	8	新規or継続	継続事業			
	係	公園緑地係			項	4	市単独or国県補助	国県補助事業			
政策体系	体系コード	521	名称	目	5	義務or任意	任意の事業				
	基本目標	5			快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	都市公園法・佐野市都市公園条例・佐野市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置基準に関する条例	事業期間	開始年度	H24	実施方法	一部委託
	政策	2			住みやすい快適なまちづくり	終了年度	R5	事業分類	施設等整備事業		
	施策	1			快適で質の高い住環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	高萩町及び鎧塚町に連なる敷地に3.2ヘクタールの地区公園を整備する。このため、地元説明会を開催し提案された意見を参考にして整備計画を立案し、一部用地を土地開発公社から2,847㎡の土地を買い戻し、都市計画決定を行い、公園整備工事の設計を行い、工事を発注し完了させる。
------	---

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	公園予定地で会った箇所に地区公園を整備し、近隣住民が安心して遊ぶことができ、休息することができる場所とする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		近隣住民人口(高萩町、鎧塚町)	人	4,998	5,053	5,069		
		公園面積	ha	0.0	0.0	3.2		

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	事故線越し事業により複合遊具設置を、線越明許費事業により擁壁、植栽、張り芝、園路舗装、擬木、階段、ベンチ、案内板、距離標を、現年度予算により敷地造成、植栽、横断側溝、園路舗装、駐車場区画線設置、車止め、園銘板、総合案内板、公園利用注意板等設置、法面整形、道路案内標識設置、西側駐車場整備、ソーラー照明バッテリー取付工事を実施した。 整備工事完了後に地元関係者等を招待し、開園式を開催した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		事業進捗率	%	75	84	100
		事業費計	千円	97,811	48,171	114,190
		一般財源	千円	1,782	1,646	5,090
		特定財源（国・県・他）	千円	96,029	46,525	109,100
		(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	平成24年度から事業を開始し、12年間かけて令和6年3月27日に供用を開始し、地元住民へ都市公園を提供することができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		近隣住民人口(高萩町、鎧塚町)	人	4,998	5,053	5,069	値が大きいほど良い	効果が上がった
		公園面積	ha	0.0	0.0	3.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用	費用は下がった	
				費用の増減無し	
				費用が増加した	○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

整備事業が終了したことにより、今後は維持管理に努めていく。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	公園整備事業が完了したことにより事業終了
------	----------------------

事業名	嘉多山公園危険箇所等対策事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	都市整備課			款	8	新規or継続	新規事業
	係	公園緑地係			項	4	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	521	名称	根拠法令、条例等	目	5	義務or任意	任意の事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	都市公園法・佐野市都市公園条例・公園施設の安全点検に係る指針	事業開始年度	R5	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり		事業終了年度	R6	事業分類	施設等整備事業
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	嘉多山公園蒸気機関車展示箇所付近の石積の倒壊防止対策を行うとともに、正面階段両脇にある石積天端等に転落防止柵を設置事により、安全性の確保及び快適な公園の維持を図る。
------	--

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	嘉多山公園の安全性の確保及び快適な公園の維持を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		補修、更新した施設数の割合	%			11.9	100.0	

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	嘉多山公園正面階段両脇にある石積天端等に転落防止柵を設置した公園蒸気機関車展示箇所付近の石積の倒壊防止工事に伴う実施設計業務を委託により実施した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		転落防止柵の設置	一式			1
		石積の崩壊対策	箇所			
		事業費計	千円	0	0	12,573
		一般財源	千円			4,246
		特定財源（国・県・他）	千円			8,327
		（うち受益者負担）	千円			0

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	平場と法面との境に転落防止柵を設置する事により、また、はらみのある石積を改修することにより、公園利用者が安全に公園を利用することが出来る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		補修、更新した施設数の割合	%			11.9	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用	費用は下がった	
				費用の増減無し	
				費用が増加した	○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

転落防止柵を設置できたことにより、公園利用者が安心して安全に公園を利用することが出来る事となった。 蒸気機関車側の石積更新に当たり、蒸気機関車を移設せずとも工事を実施できることが分かった。また、擁壁設置に当たり、既存の土砂を撤去し、擁壁に適した土砂を新たに搬入する必要が生じたことから、費用が増加した。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	蒸気機関車を移設せずに、はらみのある石積を撤去し、新たに擁壁を設置する。
------	--------------------------------------

事業名	公園維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	都市整備課			款	8 新規or継続	継続事業
	係	公園緑地係			項	4 市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	521	名称	目	5 義務or任意	任意の事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり	終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備				
			都市公園法 佐野市都市公園条例				

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	<ul style="list-style-type: none">都市公園170箇所及び緑地広場等を、季節に応じた作業を適切に行い、良好に維持管理する。維持管理作業は直営、専門業者、シルバー人材センター及び町会等へ委託して実施する。
------	--

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	公園利用者に、都市公園を安全・快適に利用してもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		市民からの苦情・要望件数	件	0	0	0	0	0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	都市公園175公園の内、運動公園等5公園を除く170公園及び緑地広場等の維持管理作業(清掃、除草、樹木剪定、害虫駆除、施設の点検・維持・修繕など)を実施した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		都市公園の面積	m ²	1,561,940	1,561,940	1,596,034
		事業費計	千円	111,159	124,383	139,148
		一般財源	千円	108,453	122,584	137,514
		特定財源(国・県・他)	千円	2,706	1,799	1,634
(うち受益者負担)	千円	1,591	1,569	1,397		

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	公園の維持管理は、専門業者への委託を含め、適切な時期に適切な対応を実施したことにより、市民へ都市公園を提供できた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		市民からの苦情・要望件数	件	317	297	247	値が小さいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用(R5とR4の一般財源増減)	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果(R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった			
			費用	費用は下がった	
				費用の増減無し	
				費用が増加した	○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

業務委託料などの費用が値上がりしており、必要な予算確保が課題として残る。 公園の維持管理に要する車両や作業用機械が経年劣化しれおり、更新の必要がある。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	維持管理に使用する車両・作業用機械を計画的に更新出来るよう検討する。
------	------------------------------------

事業名	公園維持管理車両更新事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	都市整備課			款	8	新規or継続	新規事業
	係	公園緑地係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	521	名称	根拠法令、条例等	目	5	義務or任意	任意的事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	R5	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり	終了年度	R6	事業分類	施設維持管理事業	
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	都市整備課では都市公園 170 公園、河川公園 6 公園、公園以外の施設管理 18 施設、合計 194 施設の維持管理を行っているが、作業に使用する 2 t トラックが老朽化により故障したことから新たに車両を更新する。
------	---

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	管理する都市公園等の維持管理の内、直営作業により実施する部分を適切に遂行できるよう、公園維持管理車両を更新する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		老朽化した車両の更新台数	台			1		

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	都市公園等の維持管理に直接従事する職員が使用する 2 トントラックが故障したことから、新規に車両を購入する入札事務を進め、契約対象業者を剪定した。納期に半年以上の時間を要することから、繰越明許費を設定し、令和 6 年度へ予算を繰り越した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		作業用 2 t トラックの更新	台			0
		事業費計	千円	0	0	0
		一般財源	千円			0
		特定財源（国・県・他）	千円			0
		（うち受益者負担）	千円			0

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	作業用 2 トントラックを更新する事により、直接公園の維持管理に従事する職員が、効率的に維持管理作業を実施できるようになる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		老朽化した車両の更新台数	台			0	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が変わらない指標数	1指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果は変わらない	費用	費用が下がった	
				費用の増減無し	
				費用が増加した	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

車両が故障してからの予算措置及び購入事務の開始となり、年度内に納入することが出来なかった。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	今後は計画的な車両の更新事業に取り組む必要がある。
------	---------------------------

事業名	公園施設長寿命化事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度	
	課	都市整備課			款	8 新規or継続	継続事業	
政策体系	係	公園緑地係	根拠法令、条例等	事業科目	項	4 市単独or国県補助	国県補助事業	
	体系コード	521			目	5 義務or任意	任意の事業	
	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり			開始年度	H27	実施方法	一部委託
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設等整備事業
施策	1 快適で質の高い住環境の整備							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	公園施設を計画的に補修・更新すること等を位置づけた佐野市公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化して危険性のある遊具等施設を計画的に補修・更新等を実施する。
------	--

(2) 目的

(3) 目標値

目的	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
(本事業によって成し遂げたい状態)	更新施設累計÷長寿命化計画対象施設	%	29.1	29.1	6.2	9.0	-
	(R7以降は第2期計画策定後)						

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・朱雀中央公園複合遊具を複合遊具へ、米山公園雲梯、すべり台、ブランコを複合遊具へ、菊川第4公園すべり台、砂場、ロープウェーをサンドコミュニケーション、ディグルプレイ、すべり台へ更新するための工事を実施した。 ・朱雀中央公園、米山公園、菊川第4公園、西部大橋公園、羽田公園、多田公園、西部下公園、浅沼富士の宮公園、下天神公園、田沼千房地公園、内堀米栄公園、新吉水第1公園の遊具更新工事に伴う実施設計業務を委託により実施した。 ・令和6年度実施予定であった遊具更新工事のうち8公園分を補正予算により前倒して7公園分を契約締結した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		更新した施設のある公園数	箇所	5	0	3
		実施設計した公園数	箇所	0	0	12
		事業費計	千円	47,040	0	42,588
		一般財源	千円	2,683	0	2,688
		特定財源（国・県・他）	千円	44,357	0	39,900
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	令和4年度は、事業実施を見合わせたことにより、効果指標は前年度同率となっている。 令和5年に公園施設長寿命化計画を改定したことにより、更新対象施設数が増加した。これにより更新割合は減少したが、更新済み施設数は増加しており、実質的に事業効果は増加した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		更新施設累計÷長寿命化計画対象施設	%	29.1	29.1	6.2	値が大きいほど良い	効果が下がった
		(R5から計画改定により分母を変更)						
				0	0	0		
		47,040	0	42,588				
		2,683	0	2,688				

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	1指標			
	指標全体	効果が下がった			○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・契約時期が遅くなるに従い、遊具資材の調達に時間を要することとなり、工期が延長し、年度末の竣工検査となる工事があった。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

- 竣工検査時期を考慮し、入札時期を前倒し実施できるようスケジュールを立てる。
- 必要に応じ、遊具更新に当たり利用者の意見を調査し、工事に反映させる。

事業名	城山記念館運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	都市整備課			款	8	新規or継続	継続事業
	係	公園緑地係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	521	名称	目	5	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	H23	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり	終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業	
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備					
			都市公園法 佐野市都市公園条例					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	城山公園は、J R 佐野駅・東武佐野駅の北側、佐野市の中心に位置し、多くの市民・観光客が利用している。その城山公園内にある城山記念館を維持管理して、各種団体等に多目的室や和室を提供している。
------	---

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	城山記念館利用者に城山記念館を快適に利用してもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		利用者からの苦情件数	件	0	0	0	0	0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・4月～3月 会計年度任用職員2名を配置し城山記念館の運営及び維持管理を実施。 ・熱中症対策としてクーリングシェルターを開設した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		城山記念館の開館日数	日	250	303	307
		城山記念館の利用者数	人	10,998	15,274	16,181
		事業費計	千円	10,161	11,136	10,962
		一般財源	千円	8,510	6,968	4,999
		特定財源（国・県・他）	千円	1,651	4,168	5,963
		（うち受益者負担）	千円	272	516	589

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	和室・会議室等の利用者の外、公園利用者のトイレ休憩や熱中症対策としての利用者が施設を適切に利用できた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		利用者からの苦情件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標	費用	○	
	効果が下がった指標数	0指標			
指標全体	効果は変わらない				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	従来同様に、施設の適切な維持管理・運営を実施する。
------	---------------------------

事業名	城山記念館等受水槽ポンプ更新事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ	
	課	都市整備課			城山記念館等受水槽ポンプ更新事業	款	8	新規or継続	新規事業
	係	公園緑地係			根拠法令、条例等	項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	521	名称		目	5	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	R5	実施方法	一部委託	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり		終了年度	R5	事業分類	施設維持管理事業	
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	城山記念館受水槽ポンプ及び城山公園受水槽ポンプが故障したことから、ポンプを更新する。
------	--

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	城山記念館受水槽ポンプ及び城山公園受水槽ポンプが故障したことから、ポンプの更新を実施し、正常に受水槽の水が使用できるようにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		受水槽ポンプのうち更新された受水槽ポンプ	%				100.0	

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	故障した城山記念館受水槽ポンプ及び城山公園受水槽ポンプを各1基ずつ更新する。	活動指標	単位	R3	R4	R5	
		受水槽ポンプを更新する	箇所			2	
		事業費計	千円	0	0	4,763	
		一般財源	千円			4,763	
		特定財源（国・県・他）	千円			0	
		(うち受益者負担)	千円			0	

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	故障した城山記念館受水槽ポンプ及び城山公園受水槽ポンプを各1基ずつ更新することにより、城山公園及び城山記念館がそれぞれ適正に利用できる状態となる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		受水槽ポンプのうち更新された受水槽ポンプ	%				100.0	値が大きいほど良い

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった			
費用	費用は下がった				
	費用の増減無し				
	費用が増加した	○			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

通常の使用年数を超過して使用してきたところで故障したことから、今後は通常の耐用年数を超過した時点で、専門家に更新の必要性を判断してもらう必要がある。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
公園維持管理事業の中で検討する。

事業名	城山公園駅北駐車場維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	都市整備課			款	8	新規or継続	継続事業
	係	公園緑地係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	521	名称	目	5	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	事業	開始年度	H23	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり	期間	終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備					
			都市公園法 佐野市都市公園条例					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	城山公園は、J R 佐野駅・東武佐野駅の北側、佐野市の中心に位置し、多くの市民・観光客が利用している。その城山公園内にある城山公園駅北駐車場を運営及び維持管理し、公園利用者等の利便を図る。
------	--

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	城山公園駅北駐車場利用者に城山公園駅北駐車場を快適に利用してもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		利用者からの苦情件数	件	0	0	0	0	0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・4月～3月 駐車場の運営及び維持管理を実施した。 インボイス制度導入に伴い、インボイス対応領収書の申し出のあった利用者へは、インボイス対応領収書を発行した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		開設日数	日	365	365	366
		利用台数	台	32,004	40,640	42,101
		事業費計	千円	2,892	3,589	3,564
		一般財源	千円	0	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円	2,892	3,589	3,564
		（うち受益者負担）	千円	2,892	3,589	3,564

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	駐車場の維持管理を委託により適切に実施した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		利用者からの苦情件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標	費用	費用が増減無し	○
	効果が下がった指標数	0指標			
指標全体	効果は変わらない	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

1月以上にわたり継続して駐車利用した者がいたが、市から連絡をし、駐車料金を納入の上、退出していただいた。 インボイス対応領収書を市庁舎にて、利用者からの申請により発行した。 新紙幣への対応を検討する必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	新紙幣に対応した精算機への改修方法を検討する
------	------------------------

事業名	城山公園駐輪場運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	都市整備課			款	8	新規or継続	継続事業	
	係	公園緑地係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	521	名称	根拠法令、条例等	目	5	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	都市公園法 佐野市都市公園条例	事業期間	開始年度	H23	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり		終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業	
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	城山公園は、JR佐野駅・東武佐野駅の北側、佐野市の中心に位置し、多くの市民・観光客が利用している。その城山公園内にある城山公園駐輪場を運営及び維持管理し、公園利用者等の利便を図る。
------	--

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	城山公園駐輪場利用者に城山公園駐輪場を快適に利用してもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		駐輪場利用者からの苦情件数	件	0	0	0	0	0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・4月～3月 駐輪場の運営及び維持管理を実施。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		開設日数	日	365	365	366
		利用台数	台	5,537	6,330	6,371
		事業費計	千円	1,236	1,361	1,236
		一般財源	千円	578	568	391
		特定財源（国・県・他）	千円	658	793	845
		(うち受益者負担)	千円	658	793	845

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	駐輪場を適切に維持管理し、利用者に駐輪場を提供した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		駐輪場利用者からの苦情件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標	費用	費用が増減無し	費用が増加した
	効果が下がった指標数	0指標			
指標全体	効果は変わらない				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

機器のリース等期間が令和6年までとなっており、更新等を検討する必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	機器等は問題なく稼働しており、今後は再リースを行い、継続して駐輪場の運営を行う。
------	--

事業名	都市公園LED照明整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	都市整備課			款	8	新規or継続	新規事業
	係	公園緑地係			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	521	名称	根拠法令、条例等	目	5	義務or任意	任意的事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	R4	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり	終了年度	R5	事業分類	施設等整備事業	
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	公園灯をLED照明に更新する。
------	-----------------

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市内の都市公園の水銀灯、ナトリウム灯をLED照明に交換することにより、二酸化炭素の排出量の削減に寄与する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		公園灯LED化率	%				100	

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・電力契約照会・整合処理 ・水銀灯、ナトリウム灯の灯具をLED灯具に交換 ・二酸化炭素排出量の削減率確認	活動指標	単位	R3	R4	R5
		LED照明に交換した公園灯	灯			874
		事業費計	千円	0	0	62,993
		一般財源	千円		0	3,193
		特定財源（国・県・他）	千円		0	59,800

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	消費電力の低下に伴い、一部電力契約の変更を行い基本料金を減額することが出来た。また、照明機器の消費電力の低下に伴い、電気使用料が削減できた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		公園灯LED化率	%				100	

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用	費用は下がった	
				費用の増減無し	
				費用が増加した	○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

園路灯及び室内灯の照明機器をLED照明に更新し、事業は完了した。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
業務完了により事業終了